



本部組織の改定について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、平成 29 年 4 月 3 日（月）、第 13 次中期経営計画「ベストバンク 2020 Final Stage－価値共創の 3 年」のスタートにあたり、主要課題として掲げている「戦略的アライアンスの推進」のため本部機構の一部改定を行うとともに、「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）」の強化を図るため統括部署を定めましたので、お知らせします。

記

1. 「経営企画部アライアンス推進室」の新設

「千葉・武蔵野アライアンス」※1については、経営統合によらない新たな地銀連携モデルとして、これまで多くの連携施策を実現してまいりました。また、「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」※2加盟行とは、基幹系システムをはじめとした各サブシステムの共同化に加え、T&Iイノベーションセンター株式会社への共同出資や相続関連業務における業務提携など連携範囲の拡大が進んでおります。両アライアンスを戦略的に推進していくための専任部署として、経営企画部内に「アライアンス推進室」を新設します。

2. 「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）」に向けた態勢整備

資産運用業務における「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）」に向けた態勢整備の一環として、「お客様サービス部」を各所管部の施策立案や実行、モニタリング等に関する統括部署とします。

※1 平成 28 年 3 月に締結した武蔵野銀行との包括提携契約。

※2 日本アイ・ビー・エム株式会社の協力のもと、金融分野における先進的な IT 技術（フィンテック）とその活用について共同で調査・研究を行う組織として、平成 27 年 10 月に、千葉銀行・第四銀行・中国銀行が加盟して発足。平成 28 年 3 月に、伊予銀行・東邦銀行・北洋銀行が加わり、現在 6 行が加盟している。

以 上